

# 児童発達支援センターの一元化 一元化後の児童発達支援センターの人員基準・設備基準について

## ◎改正後（一元化後）の基準（令和6年4月以降～）

児童発達支援センター				
	児童発達支援		治療を行う場合	
人員基準	<div>○嘱託医・・・ 1 以上 (神科又は小児科の診療に相当の経験を有する者)</div> <div>○児童指導員及び保育士 4：1 以上 ・児童指導員・・・ 1 以上 ・保育士・・・ 1 以上 (機能訓練担当職員、看護職員等の数を総数に含める場合は、半数以上が児童指導員又は保育士であること)</div> <div>○栄養士・・・ 1 以上 (障害児の数が40人以下の場合は置かないことができる)</div> <div>○調理員・・・ 1 以上 全部委託の場合は置かないことも可</div> <div>○機能訓練担当職員 機能訓練を行う場合に置く</div>		<div>○児童発達支援管理責任者・・・ 1 以上</div> <div>○看護職員 医療的ケアを行う場合に置く</div> <div>○管理者 支障がない場合は他の職務との兼務可</div>	左記の人員に加え、 ○診療所に必要とされる従業者 ・・・医療法に規定する必要数
設備基準	<div>○医務室</div> <div>○発達支援室 定員おおむね10人 床面積 2.47㎡以上／人</div> <div>○遊戯室 床面積 1.65㎡以上／人</div> <div>○屋外遊技場</div> <div>○相談室</div> <div>○調理室</div> <div>○便所</div>		<div>○静養室</div> <div>○その他、指定児童発達支援の提供に必要な設備及び備品等を設けること</div>	左記の基準に加え(※)、 ○医療法に規定する診療所に必要とされる設備 (※) 医務室については除く。

## ◎経過措置

旧医療型児童発達支援センター及び旧福祉型児童発達支援センター（難聴児、重症心身障害児）の人員・設備について、令和8年度末までの間（設備基準は当分の間）、改正前の基準によることができる。

## <参考> 改正前の基準

	福祉型			医療型
	障害児	難聴児	重症心身障害児	
人員基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>○嘱託医・・・1以上 (神科又は小児科の診療に相当の経験を有する者)</li> <li>○児童指導員及び保育士 4:1以上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童指導員・・・1以上</li> <li>・保育士・・・1以上</li> </ul> (機能訓練担当職員、看護職員等の数を総数に含める場合は、半数以上が児童指導員又は保育士であること)</li> <li>○栄養士・・・1以上 (障害児の数が40人以下の場合は置かないことができる)</li> <li>○調理員・・・1以上 全部委託の場合は置かないことも可</li> <li>○機能訓練担当職員 機能訓練を行う場合に置く</li> <li>○児童発達支援管理責任者・・・1以上</li> <li>○看護職員 医療的ケアを行う場合に置く</li> <li>○管理者 支障がない場合は他の職務との兼務可</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○嘱託医・・・1以上 (聴科又は耳鼻咽喉科の診療に相当の経験を有する者)</li> <li>○児童指導員及び保育士 4:1以上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童指導員・・・1以上</li> <li>・保育士・・・1以上</li> </ul> </li> <li>○栄養士・・・1以上 (障害児の数が40人以下の場合は置かないことができる)</li> <li>○調理員・・・1以上 (全部委託の場合は置かないことも可)</li> <li>○機能訓練担当職員 (機能訓練を行う場合に置く)</li> <li>○看護職員 (医療的ケアを行う場合に置く)</li> <li>○児童発達支援管理責任者・・・1以上</li> <li>○管理者 (支障がない場合は他の職務との兼務可)</li> </ul> <p>上記の人員に加え、言語聴覚士を指定発達支援の単位ごとに4人以上配置</p> <p>※ 言語聴覚士、機能訓練担当職員、看護看護職員については、その数を児童指導員及び保育士の総数に含めることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○嘱託医・・・1以上 (内科、精神科、神経と組み合わせた名称を診療診療科名とする診療科、小児科、外科、整形外科又はリハビリテーション科の診療に相当の経験を有する者)</li> <li>○児童指導員及び保育士 4:1以上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童指導員・・・1以上</li> <li>・保育士・・・1以上</li> </ul> </li> <li>○栄養士・・・1以上 (障害児の数が40人以下の場合は置かないことができる)</li> <li>○調理員・・・1以上 (全部委託の場合は置かないことも可)</li> <li>○機能訓練担当職員 (機能訓練を行う場合に置く)</li> <li>○看護職員 (医療的ケアを行う場合に置く)</li> <li>○児童発達支援管理責任者・・・1以上</li> <li>○管理者 (支障がない場合は他の職務との兼務可)</li> </ul> <p>上記の人員に加え、看護職員、機能訓練担当職員を各々1人以上配置</p> <p>※ 機能訓練担当職員、看護看護職員については、その数を児童指導員及び保育士の総数に含めることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○診療所に必要とされる従業者 ・・・医療法に規定する必要数</li> <li>○児童指導員・・・1以上</li> <li>○保育士・・・1以上</li> <li>○看護職員・・・1以上</li> <li>○理学療法士又は作業療法士 ・・・1以上</li> <li>○機能訓練担当職員・・・必要数 (言語訓練等を行う場合)</li> <li>○児童発達支援管理責任者 1以上</li> <li>○管理者 (支障がない場合は他の職務との兼務可)</li> </ul>
設備基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医務室</li> <li>○指導訓練室 定員おおむね10人 床面積 2.47㎡以上/人</li> <li>○遊戯室 床面積 1.65㎡以上/人</li> <li>○屋外遊技場</li> <li>○静養室 (主として知的障害児が通所)</li> <li>○相談室</li> <li>○その他、指定児童発達支援の提供に必要な設備及び備品等を設けること</li> <li>○調理室</li> <li>○便所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医務室</li> <li>○指導訓練室</li> <li>○遊戯室</li> <li>○屋外遊技場</li> <li>○聴覚検査室 (主として聴覚障害児が通所)</li> <li>○その他、指定児童発達支援の提供に必要な設備及び備品等を設けること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医務室 (設けないことができる)</li> <li>○指導訓練室</li> <li>○遊戯室 (設けないことができる)</li> <li>○屋外遊技場 (設けないことができる)</li> <li>○その他、指定児童発達支援の提供に必要な設備及び備品等を設けること</li> <li>○相談室 (設けないことができる)</li> <li>○調理室</li> <li>○便所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医療法に規定する診療所に必要とされる設備</li> <li>○浴室及び便所には手すり等身体機能の非自由を助ける設備</li> <li>○階段の傾斜は緩やかにする</li> <li>○指導訓練室</li> <li>○相談室</li> <li>○屋外訓練場</li> <li>○調理室</li> </ul>